

福田年通さんが副市長を退任



3月31日、福田年通さんが副市長を退任されました。
〔メッセージ〕
あつという間の1年10か月で市職員の皆さま、なによりも市民の皆さまに支えられ大変

新副市長に飯田重則さんが就任



4月1日、飯田重則さんが能美市の副市長として就任されました。
〔メッセージ〕
県職員として行政に携わってきた経験を生かし、井出市長のもと、市民の皆様の声をお聞

新教育長に横関達人さんが就任



3月27日に開催された能美市議会定例会で、横関達人さんを後任の教育長に任命することが同意されました。任期は令和7年4月1日から令和8年3月31日までです。

清水清人さんからご寄附 教育の振興のために



清水清人さん（白山市）から市の教育の振興のために700万円のご寄附をいただきました。頂いたご寄附は今年度の能美市誕生20周年記念事業として、中学校吹奏楽部の楽器更新に活用させていただきます。

㈱こまつ自動車学校からご寄附 企業版ふるさと納税 教育の振興のために

株式会社こまつ自動車学校（小松市）から教育の振興のために100万円のご寄附をいただきました。頂いたご寄附は今年度の能美市誕生20周年記念事業として、中学校吹奏楽部の楽器更新に活用させていただきます。



寺井中学校学校運営協議会が文部科学大臣表彰 コミュニティ・スクールと地域学校協同活動の一体的推進



寺井中学校学校運営協議会が令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協同活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。
3月26日、協議会を代表して、二羽一弥会長、吉光成寛副会長、南昭宏ディレクター、

寺井高校昼食提供事業開始 寺井高校へのサポートと新たな魅力づくりに

4月9日、能美市学校給食センターから寺井高校への昼食提供が始まりました。
この取り組みは温かく栄養バランスの計算された学校給食を「昼食」として提供し、生徒の健康面でのサポートや保護者の昼食準備の負担を軽減し、寺井高校の新たな魅力づく



防災士の多原さんが県知事表彰 防災意識の普及啓発に広く活躍



3月20日、令和6年度石川県自主防災組織等知事表彰の防災士部門を受賞した多原正博さん（寺井町）が市役所を訪れ、井出市長に所を訪れ、井出市長に受賞を報告しました。この表彰は地域の防災力向上に貢献した防災士に贈られるものです。多原さんは「県・市・町会・町内会の防災士の各組織が連携する仕組みを作っていきたい」と今後の意気込みを話されました。

㈱バカンと避難所の情報提供に関する協定締結 指定避難所の開設状況などを確認できるサービス

3月24日、株式会社バカン（東京都）と、市の指定避難所の開設状況などをパソコンやスマートフォンで確認できるサービスの利用に関する協定を締結しました。
このサービスは現在、市が構築中のデジタルハザードマップから避



市内企業17社に助成金・補助金を交付 産業振興、企業立地促進

3月28日、企業立地促進助成金、産業振興奨励助成金の交付式を市役所で行い、井出市長が交付対象の各企業の代表に交付決定通知書を手渡しました。

企業立地促進助成金は、市の産業用地などを取得し、工場などの新設・増設を行った企業に助成するものです。産業振興奨励助成金は、市内で工場などの新設・増設や機械設備に一定額以上の投資を行った企業に助成するものです。

交付式では各社が自社の現状や今後の展望、助成金の活用方法を報告されました。

企業立地促進助成（13社） ※五十音順

- ・石川日野自動車株式会社（福島町）
- ・株式会社オンワード技研（福島町）
- ・株式会社小林製作所（湯谷町）
- ・有限会社こまつ（山口町）
- ・株式会社歯愛メディカル（福島町）
- ・澁谷工業株式会社（福島町）
- ・株式会社中東（岩内町）
- ・司企業株式会社（粟生町）
- ・株式会社東振精機（寺井町）
- ・株式会社長登屋（山口町）
- ・日本ガイシ株式会社（能美）
- ・株式会社日本パーツセンター（粟生町）
- ・吉岡幸株式会社（山口町）

産業振興奨励助成（4社） ※五十音順

- ・有限会社インダ鉄工（浜開発町）
- ・株式会社東振精機（寺井町）
- ・北陸スチール株式会社（道林町）
- ・株式会社T・T・O（山口町）



企業立地促進助成金、産業振興奨励助成金の交付を受けた企業の皆さん

のみ地域力強化支援ファンド採択式・活動計画報告会 多世代の居場所づくりを

3月21日、市役所でのみ地域力強化支援ファンドの採択式と活動計画報告会を行いました。今回、採択された団体は、火釜みんな食堂実行委員会（居場所づくり、みんな食堂）です。

井出市長は「新しい住民を受け入れていくためにみんな食堂は大切。市としてもサポートさせていきたい」とエールを送りました。団体の代表木谷竜海さんは「さまざまな世代が集まる場所が新しくあればという思いで始め、第一回も見込以上の方に来場いただけた。これからも頑張っていきたい」と報告されました。



火釜みんな食堂実行委員会の皆さん

春季火災防ぎょ訓練 化学災害・多数傷病者・火災の複合的対応訓練



各隊による一斉放水

3月23日、根上中学校で、春季火災防ぎょ訓練を開催し、能美警察署、市消防団、市消防本部が参加しました。訓練は、不審者が校内に侵入し、有害物質の散布と放火をしたことで化学災害及び建物火災が発生した想定で行われました。警察官による現場安全確保、化学防護服を装着した消防隊員による救助及び除染活動、市消防団と連携した包囲戦術による一挙火勢鎮圧を図る消火訓練を行いました。

能美市公共ライドシェア「ノルノミ」出発式 モデル地区10町会で始動



3月24日、国造コミュニティセンター駐車場で能美市公共ライドシェア「ノルノミ」出発式を開催しました。「ノルノミ」は、買い物や通院など生活に欠かせない移動手段を確保するため、のみバスを補完する新たな移動サービスとして、市民の自家用車を活用した有償運送を提供するものです。

法定講習を受けた住民ドライバーが平日午前9時から午後4時に、所定のコース・乗降場所・ダイヤで運行します。モデル地区として選定された国造地区周辺10町会の住民は、辰口・寺井地区の商店集積地までの往復に利用することができ、利用には電話かLINEで前日までに予約が



必要で、片道1回「のみバス回数券」5枚で利用できます。出発式では、関係者によるテープカットの後、参加者たちに見送られ初の利用者を乗せた車が出発しました。井出市長は、「今後、市内全域に拡大できるようなモデル地区での意見を聞きながら改善を図る。全国のモデルケースになるようにしていきたい。」と挨拶しました。



ノルノミ初運転を見送る式典参加者

大浜町学習等供用施設 改修工事完了 防衛省・県・市の補助金を活用



大浜町学習等供用施設

3月14日、大浜町学習等供用施設の改修工事が完了しました。これまでの施設は築40年が経過し、老朽化していたため、防衛省補助金（民生安定助成事業）や県・市の補助金を活用し、改修工事を行いました。



防衛省補助金（民生安定助成事業）を活用して整備しました。

福岡小学校の夜間照明施設がLED照明に 日本スポーツ振興センター助成

福岡小学校グラウンドの夜間照明施設の改修工事が完了し、4月1日から利用が可能となりました。

今回既存の照明施設6基をLED照明に改

修したことで、CO₂削減による地球温暖化対策を図るほか、グラウンド全面を照らせるようになり、多種目の競技で利用しやすくなりました。



日本スポーツ振興センターはスポーツくじの売上金の一部を財源として、地方公共団体やスポーツ団体などのスポーツの振興を目的とする事業に対し助成を行っています。

施設利用：問 / 根上体育館（☎ 55 - 2896）

金沢学院大学との連携推進会議を開催 7つの事業成果の共有と今後の連携を確認



リモート会議の様子

3月24日、市が包括連携協定を結ぶ金沢学院大学・金沢学院短期大学との連携推進会議を開催しました。

市内小学生を対象とした朝食の栄養バランスを考える食育事業や、学生が「古墳カード」を企画・デザインし古墳PRに取り組んだ賑わいイベントなど、令和6年

度を実施した7事業の成果を共有、次年度に向けた展開などについて協議しました。

井出市長は「学院大生のアイデアから実現した能美根上駅パークスペース「ノミスタ」が多く利用されている。今後も学生との意見交換の機会を設けたい」と述べました。

男女共同参画プラン見直しの答申式 第2次能美市男女共参画プラン

3月19日、男女共同参画審議会会長を務める金沢大学の眞鍋知子教授から第2次能美市男女共同参画プランの見直しについて答申を受けました。

3月8日に公表された「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」で、石川県の共働き家

庭の家事・育児時間の男女格差が全国で最も開いた結果となりました。井出市長と眞鍋教授はこの結果を受け、女性活躍を推進するための取り組みについて意見交換を行いました。

眞鍋教授は「男女共同参画を推進するためには、着実に、地道に進



眞鍋教授（左）と井出市長

めていくことが大切だ」と述べました。

卒園児に九谷焼の記念品を贈呈 園児の卒園を九谷焼で祝福



市公式キャラクター「ひぽぽん・ゆず美ん・ぽぽ能ん」が描かれた九谷焼湯呑み

3月に市内の保育園を卒園した344人の園児たちに、石川県陶磁器商工業協同組合（九谷陶芸村）から記念品として九谷焼の湯呑みが贈られました。これは卒園児をお祝いす

る目的で、平成15年から続いています。3月21日、岩田克久理事長が市役所を訪れ、井出市長に目録を手渡しました。

市内小中学校で入学式 満開の桜が祝福 820人の新入生

4月7日、市内各小中学校で入学式が開催されました。小学校は363人、中学校は457人の新入生が、希望に満ちた表情で新

たな学校生活をスタートしました。新入生たちは新生活への期待に胸を膨らませていました。



湯野小学校入学式の様子

東大生が移住プロモーション促進策を提案 東大生が移住「五月祭」に出店し能美市をPR！



井出市長はじめ市職員に提案を報告する東大生4人

3月25日、市役所で令和6年度東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムの能美市担当学生4名が「大都市圏から能美市への若者の移住促進に向けたシティプロモーション施策」と題し、能美市へ提案しました。

短期施策としては、今年5月に開催される

学園祭「第98回五月祭」にPRブースを出店すること、長期施策としては、オンラインコミュニケーションなど移住者と地域をつなぐ施策、大学生を対象とした長期インターンシップなどが提案されました。

1年間の活動を通じて、学生4名には、能美市への愛着が生まれ、深まりました。

「第98回五月祭」について

今年の五月祭は、5月24日（土）・25日（日）、東京大学本郷・弥生キャンパスで開催されます（能美市PRブースの場所は、正門そばのガラス棟内予定）。例年、400あまりのブースが出店し、2日間で大学生や家族連れなど10万人以上が来場する一大イベントです。

学生4名と市職員が能美市をPRします。（当日のサポートボランティアも募集します。詳細は広報広聴課（TEL 0761-58-2208 ■koho@city.nomi.lg.jp）までお問い合わせください。）



五月祭イメージ

健康クラブ開講式 3地区で開催 運動で健康に



元気に汗を流し、親睦を深める参加者

4月2日から5日にかけて、寺井末広健康クラブ、根上はまなす健康クラブ、辰口健康クラブ「スマイル」の市内3地区の健康クラブ開講式が行われました。会員計97名が参加し、各クラブの会長からあいさつで1年間の抱負が力強く述べられました。

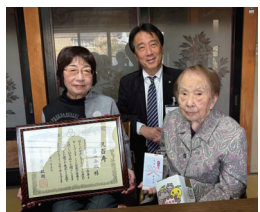
開講式後の活動ではダンスや体操を楽しみ参加者同士が元気に親睦を深めました。健康クラブは年間各36回開催され会員も随時募集しています。

祝百寿 おめでと〜いございます

2月14日、吉田春枝さん（大浜町）がめでたく100歳を迎えられました。

吉田さんは看護師として働かれ、その後は家庭に携わっていました。仕事熱心で、たまにご家族と外出することを楽しみでした。

94歳ごろまではご自身で買い物へ行き、ご家族に料理を振舞っていました。食べることが好きで、現在も好き嫌いなく何でも食べ、元気に過ごされています。



右から吉田さん、井出市長、娘さん